TV & MONITOR 液晶テレビ

DS-TV702BK

取扱説明書

テレビを観る前に、必ずオートサーチを行ってください

本製品をはじめてお使いになる場合はオートサーチ(受信チャンネルの読み込み)が必要です。オートサーチを行うことで、はじめてテレビ放送を受信することができます。

2011年 アナログテレビ放送終了
地上デジタル放送をご覧いただくには専用チューナーが必要となります。 総務省

オートサーチによりチャンネルを読み込んだ際、周辺地域のチャンネル番号とは必ずしも一致はしません。また、オートサーチ後にチャンネル番号の入れ替えや変更はできません。搭載のチューナーはアナログ放送専用です。2011 年 7 月以降は本製品だけでデジタルテレビ放送を受信することはできません。

●付属アンテナをご使用の際はビルや山のかげ、地下やマンション内等の電波が弱く届きにくい所では映像が乱れ・映らないことがあります。受信状況によっては付属の F 型変換コネクタを使用して家庭用アンテナ線に接続することをお勧めします。

●AV入力コネクタはUSBのような形状をしていますがPC用のUSB製品（フラッシュメモリやワンセグチューナー等）を接続して使用することはできません。

目次

はじめに

お買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書と保証書をよくお読み頂き、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう、大切に保管してください。

■セット内容

以下が入っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。

●テレビ本体　●テレビスタンド　●リモコン　●F 型アンテナ変換
● VGA 用音声ケーブル　● AV ケーブル　● AC アダプタ
●車載用 DC アダプタ（12V 車専用）　●イヤホン
●取扱説明書／クイックガイド　●保証書

使用上の注意

● AC アダプタの電圧が家庭用コンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100–240V）。
●クリーニングする場合はシンナーやベンジン、アルコール等の有機溶剤は使用しないでください。
●長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください。また、夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。本体の変形や故障の原因となります。静電気の多い場所やほこりの多い場所、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で本製品を操作しないでください。ショートによる故障および感電の原因となります。
●分解、改造は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。分解が原因で故障した場合は修理をお断りいたします。
●本製品を落としたり踏んだりしないでください。また、加重を与えたり上に重たいものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がする、煙が出る、異常な音がする等の症状が見られたら、電源プラグをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
●小さなお子様が使用する場合には、電気製品の取り扱いを理解した大人の監視と指導のもとで行うようにしてください。
●コネクタに専用ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火のおそれがあります。

●本書の説明と明らかに異なる操作や目的で使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となりますので絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●液晶パネルは高度な技術で製造されておりますが稀に常時点灯、もしくは消灯する点がございます。これらは故障や不良の範囲には属しませんので、予めご了承ください。

車載でのご使用について

●本製品は車載専用機ではありません。真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障や事故の原因となり非常に危険です。絶対にしないでください。
●自動車のエンジン始動時は電源供給が不安定です。車載使用時は DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動するとテレビ本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器接続はエンジンがかかった状態で行なってください。
●本製品を車内でご利用になる場合は運転に支障が出ない位置に設置してください。
●運転中の視聴および操作は大変危険ですので絶対におやめください。
●付属の DC アダプタは 12V 電源仕様車専用です。異なる電圧(24V 等)のシガーソケットに差し込んで使用しますと発熱、発火、故障の原因となります。
●お車での使用時、接続機器や車種によっては稀にノイズが発生する場合があります。
●オートサーチした地域の外に出るとそれまでにご覧になっていたチャンネルを受信できなくなります。使用地域を変更した場合は再度オートサーチをやり直してください。
●大きな建物のそばやトンネルの中等では電波の受信状況が悪く、テレビが映らなくなることがあります。その場合は電波の受信状態が良くなるよう設置場所やアンテナの向きを変えて調整するか、F 型変換コネクタを使用して外部アンテナに接続する事をお勧めします。　※本製品には出力端子が付属しておりません。したがって、入・出力それぞれの端子が必要なアンテナシステムには対応しておりません。

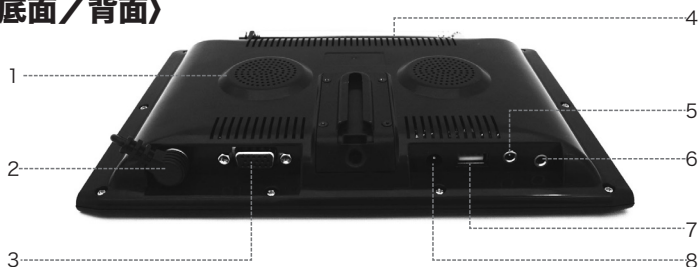
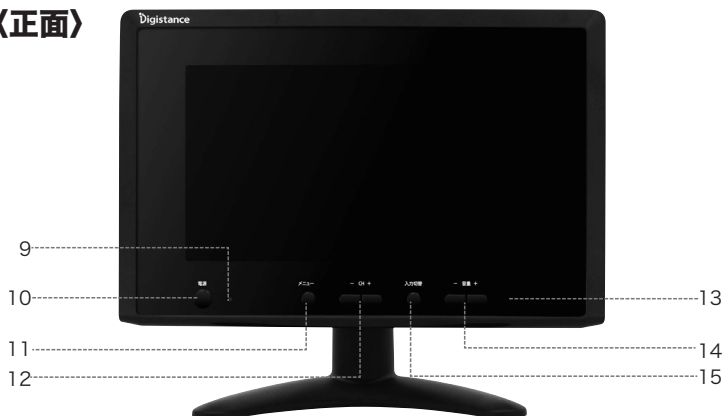
テレビの受信について

●**アナログ放送受信専用機です。デジタル放送には対応しておりません。2011 年 7 月のアナログ放送停波以降、本製品だけでデジタル放送をご覧頂くことはできません。**
●ご使用前にオートサーチを行なわないと、テレビ放送をご覧頂くことができません。
●オートサーチでチャンネルを読み込んだ際、お住まいの地域のチャンネル番号と一致しない場合があります。また、チャンネル番号の入れ替えはできません。
●電波状況及び放送規格の異なる海外地域ではご使用になれません。建物の陰や室内、地下等、また屋外でも電波の弱いところでは映像を映し出せない場合がありますのでご注意下さい。その場合は、家庭用のアンテナ線をご使用になる事をお勧めします。
●本製品の AV 入力専用ジャックは「USB 形状」のコネクタです。パソコン用 USB 製品（フラッシュメモリ、ワンセグチューナー等）を接続しての使用はできません。

予めご了承いただきたいこと

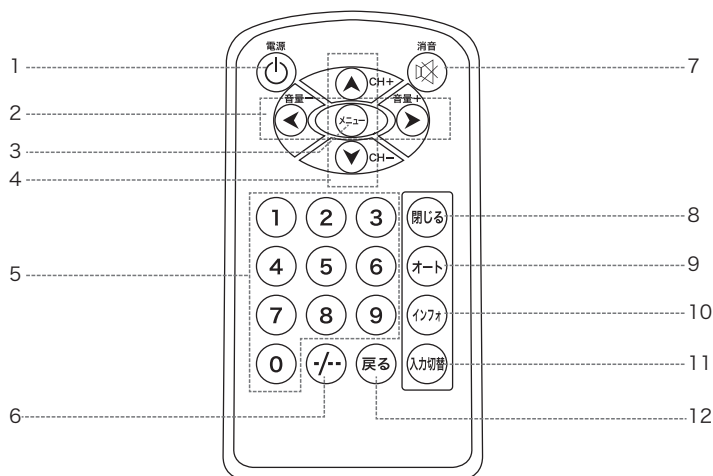
●本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。
●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気付きの点がございましたら弊社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止します。また、個人としてご利用になる他は著作権法上、無断での使用はできません。
●万一、本機使用により生じた損害、本書記載以外の用法による故障、損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
●接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えません。
●地震や雷等の自然災害、火災、第三者からの行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えません。
●故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えません。
●保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、 当社では一切の責任を負えません。
●一般家庭での使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ等）として使用した場合や個人であっても過度に長時間連続で使用した場合等は保証の対象外となります。また、海外での使用に関する保証、およびサポート対応はできません。

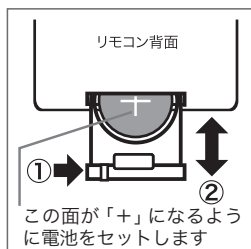
1 テレビ・リモコンの各部機能

〈底面／背面〉

〈正面〉

〈各部機能の紹介〉

No.	名称	機能
1	スピーカー	音声を出力します。
2	アンテナ入力	本体アンテナを使用する場合はキャップを被せてお使いください。外部の F 型アンテナに接続する場合はキャップを外してから F 型変換コネクタ接続します。
3	VGA 映像入力	VGA 映像ケーブルを接続します。
4	アンテナ	本体アンテナでアナログテレビ放送を受信する場合は引き伸ばしてお使いください。
5	イヤホン出力	イヤホンを接続します。
6	VGA 用音声入力	PC のイヤホン端子に接続し、VGA 映像接続時の音声を入力します。
7	AV 入力	付属の AV ケーブルを使用し、DVD プレーヤーなどの外部機器を接続します。
8	電源入力	電源アダプタを接続します。
9	電源ランプ	電源がオンの時は緑色、オフの時は赤色に点灯します。
10	電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます。
11	メニューボタン	メニュー画面を開きます。
12	CH ボタン	チャンネルを切り替えます。
13	リモコン受光部	リモコン操作はここに向けて行ないます。
14	音量ボタン	音量を調節します。
15	入力切替	TV ／ AV 入力モードを切り替えます。

ここでは各部の名称、および簡単に機能の紹介をしました。具体的な使用法や詳細については各接続、および使用方法の紹介ページをご覧ください。

リモコン／各部名称と機能

No.	名称	機能
1	電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます。
2	音量ボタン（＋／−）	音量を調節します。
3	メニューボタン	各種設定の変更を行なうメニュー画面を呼び出します。
4	チャンネルボタン（＋／−）	チャンネルを切り替えます。
5	数字ボタン	数字を入力することでチャンネルを変更します。
6	桁変更ボタン	チャンネルを数字ボタンで切り替えるときの桁数を変更します。
7	消音ボタン	一時的に消音状態にします。もう一度押すと消音状態が解除されます。
8	閉じるボタン	メニュー画面を閉じます。
9	オートボタン	3〜5秒間長押しすることで、オートサーチ(P11参照)します。
10	インフォボタン	現在のチャンネルを画面に表示します。
11	入力切替ボタン	ボタンを押す毎に、TV ／ AV 入力／ VGA 入力が切り替わります。
12	戻るボタン	1 つ前に表示させていたチャンネルに戻ります。

リモコン用電池のセット／交換

①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。

②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。

③電池を交換します。セットするボタン電池は " + " と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

※リモコンの電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用になる分は、別途ご用意ください。

※初めてリモコンを使用する場合、電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれていますので、それを引き出してから使用してください。

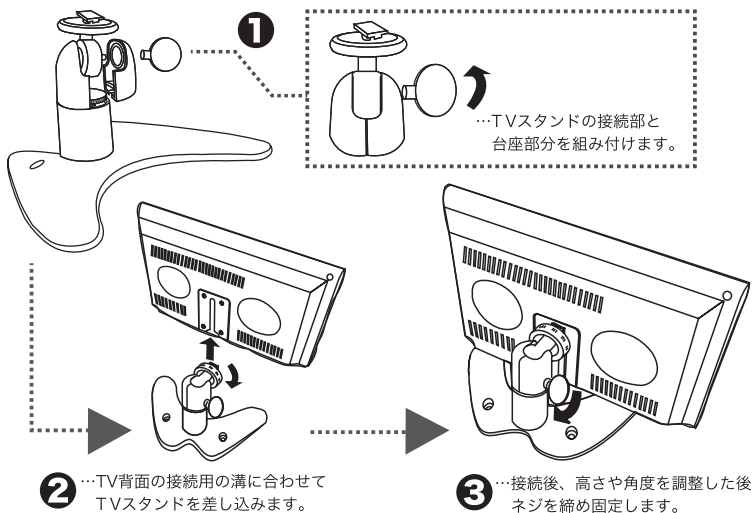
※長期間使用しない場合は、リモコンの電池を取り出して保管してください。

2 アンテナ・電源 その他の接続

本章ではアンテナや各種電源供給に関する接続、外部機器（DVD プレーヤーなど）の接続を紹介します。特にお車からの電源供給に関しては用法を誤ると故障や事故につながり大変危険です。注意事項を守り正しくお使いください。

※テレビを見るには本章の接続を終えた後､次章で紹介する 「オートサーチ（チャンネル読み込み)」の操作が必要です。

専用テレビスタンドの設置

本製品には視聴時に便利な、専用テレビスタンドが付属します。次の❶〜❸の手順で組み立ててください。

※固定用の締め付けネジはプラスチック製です。きつく締めすぎると破損してしまいます。

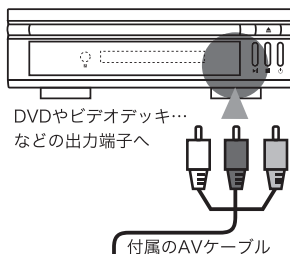
①本体アンテナの設置

本体付属アンテナを使用して受信する場合は、本体底面のアンテナ端子をアンテナ入力端子に差し込みます。
続いて本体上部のアンテナを伸ばしてください。

②外部アンテナの接続

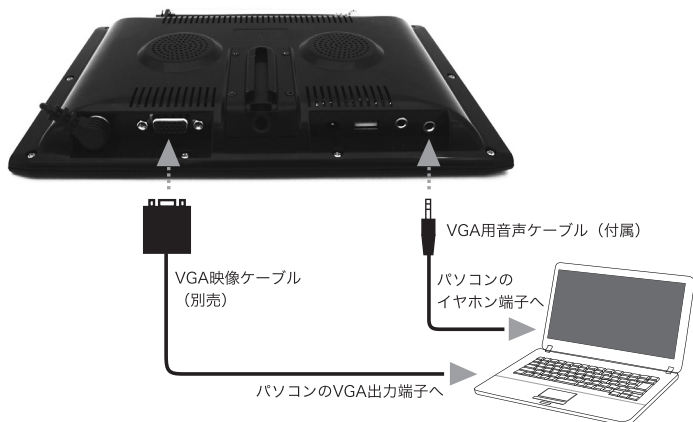
外部アンテナを使用する場合は付属のF型変換コネクタを使って本体底面のアンテナ端子とお持ちのアンテナ線（F型端子）を接続します。

③ AV ケーブルを使った外部機器接続

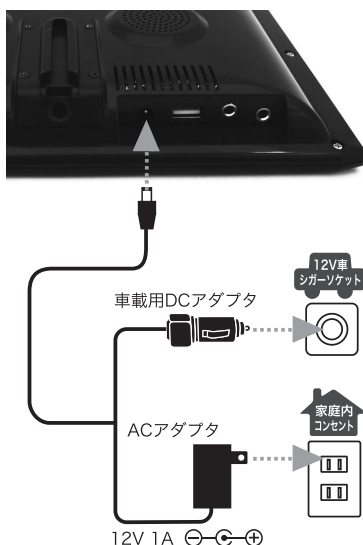
付属の専用 AV ケーブルを使って、テレビ本体底面の AV 入力と DVD など外部機器の AV 出力を接続します。
接続後に入力切替ボタンを押してテレビを AV モードに切り替えてください。

※ AV 入力の端子は USB の形状をしていますがフラッシュメモリやチューナー機器、その他 PC 関連製品を接続してもご使用頂けません。

④ VGA 入力端子を 使った外部機器接続

PC との接続です。接続後に入力切替ボタンを押して本テレビを VGA モードに切り替えてください。

[VGA 入力時の注意]
接続用の VGA 映像ケーブルは別売です。また、PC の外部ディスプレイ出力サイズを 800×480 ピクセルを超えて設定すると映像を正しく受け取ることができません。

⑤電源の接続

テレビ本体底面の電源入力に、付属の AC（もしくは DC）アダプタを接続し、コンセント（車載時は 12V 車のシガーソケット）に差し込みます。
未使用時は必ずテレビ本体から電源アダプタを取り外してください。

[車載でお使いの場合の注意]
- 付属の DC アダプタは 12V 車専用です。24V 車ではお使いになれません。
- 車載使用時は DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動するとテレビ本体に無理な負荷がかかり故障の原因となります。接続はエンジンがかかった状態で行なってください。

3 オートサーチ テレビ視聴

オートサーチは本製品を初めて使用する際に必ず行う操作です。オートサーチを行わないと放送を受信することはできません。各種接続後、下記手順で行ってください。

テレビを観る前に…オートサーチ

❶電源を ON にする

…各種接続を終えた後、電源ボタンを押して電源をオンにします。

❷入力切替をする

…入力切替ボタンを押し、テレビモードが選択されていることを確認してください。

❸オートサーチを開始する

…リモコンのオートボタンを 3 ～ 5 秒間長押しするとオートサーチが実行されます。終了まで多少時間がかかりますのでしばらくお待ちください。

❹受信内容の確認

…オートサーチが終了したらチャンネルを切り替え、受信内容を確認してください。

[オートサーチについての補足] 読み込みチャンネル数はお使いの地域状況により異なります。また、はじめてお使いになる時以外に引っ越しや移動により視聴地域が変わった場合にも操作が必要です。本ページと合わせてオートサーチやテレビ受信に関する設定の詳細は P14 の TV 調整メニューの記載をご確認ください。

テレビ視聴時の各種操作

[電源]

電源ボタンを押すと電源のオンとオフが切り替わります。

[チャンネル切替]

CH+/- ボタンを押すとチャンネルが昇順もしくは降順で切り替わります。
数字ボタンでも切り替えが可能です。

[音量調節]

音量 +/- ボタンを押すと音量が調節されます。また、消音ボタンを押す毎に消音と出音が切り替わります。

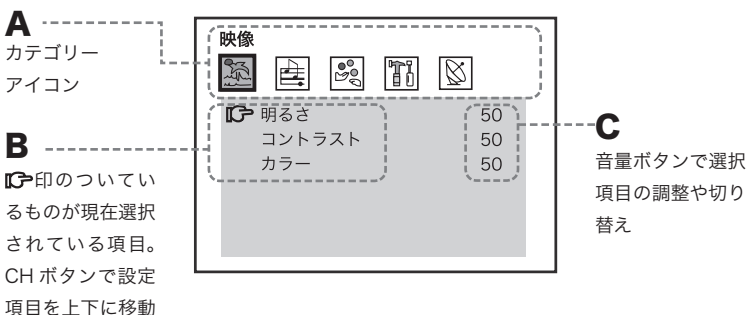
[情報表示]

インフォボタンを押すと画面にチャンネル番号が表示されます。

4 メニュー画面での各種設定

メニュー画面の主な操作

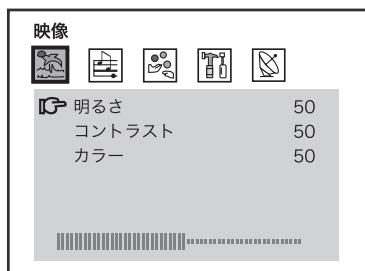
メニューボタンを押すと各種設定が行なえるメニュー画面が開き、続けて押すことで画面上部のカテゴリーアイコンが切り替わります（図中 A)。設定したいカテゴリーを選択後に CH ボタンで設定項目を選び（図中 B)、音量ボタンで項目の調整や切り替えを行ないます（図中 C)。

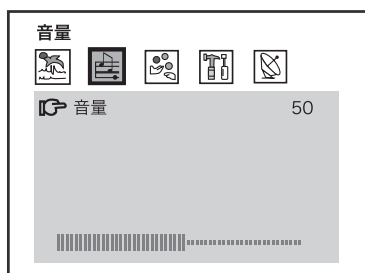
「TV 調整」アイコンが選択されている状態でメニューボタンを押す、または一定時間操作がなかった場合はメニュー画面が閉じられます。

●メニュー画面に表示されている項目のうち先頭に☞があり、赤文字で表示されているものは現在選択中の項目です。CH+/- ボタンを押すと設定項目の☞が上下に移動します（上図 B)。

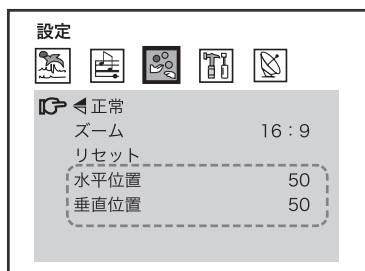
●音量 +/- ボタンを押すと選択中の項目の設定を変更することができます（上図 C)。

映像メニュー

画面の明るさ、コントラスト、カラーを調整することができます。

[映像メニューの表示内容]
映像メニュー内下段のカラー項目はVGA 入力時には表示されません。また、VGA 入力時の設定はその他機能モードとは独立しています。

音量メニュー

音量を調節します。通常はテレビ本体およびリモコンの音量ボタンで調節してください。

設定メニュー

- ◀…画面を上下に反転します。
- **ズーム**…縦横比率を変更します。
- **リセット**…選択後に音量ボタンを押すと設定項目が出荷時の状態に戻ります。オートサーチで読み込んだチャンネルも消去されますので、テレビを観る前には再度オートサーチの操作が必要です。
- **水平位置**…VGA 入力映像の水平方向の表示位置を調整します。
- **垂直位置**…VGA 入力映像の垂直方向の表示位置を調整します。

[設定メニューの表示内容]
設定メニュー内下段の水平位置／垂直位置項目は VGA 接続後、VGA 入力モードのメニュー画面でのみ表示されます。

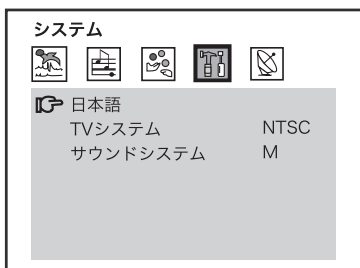
システムメニュー

- **言語**…画面表示言語を切り替えます。

本書はこちらで日本語が設定されている状態を想定して作成されております。また、その他言語に対応する説明書のご用意はありません。

- **TV システム**…国や地域毎に定められた TV システムを切り替えます。接続機器間の TV システムが一致していないと映像を正常に映し出すことができません。

TV システム項目は TV モードの時は変更することができません。また、外部機器接続時についても日本の機器では主に NTSC が用いられていますので、通常は NTSC から変更をしないでください。

- **サウンドシステム**…本機では操作することができません。

TV 調整メニュー

- **TV タイプ**…テレビ放送の受信方法を選択します。通常は ATV を、ケーブルテレビも受信する場合は CTV を選択してください。

- **オートサーチ**…受信可能な放送を読み込み、登録します。リモコンボタンでも同様の操作が可能です。詳しくは P11 をご覧ください。

- **手動調節**…現在受信している放送局の周波数に隣接し、受信可能な放送局を探します。

- **バンド**…現在受信中の放送の周波数帯域が表示されます。

- **ポジション**…現在受信中の放送のチャンネル番号が表示されます。

- **スキップ**…オンに設定するとチャンネルボタンを使ってチャンネルを切り替える際に、任意のチャンネル番号を読み飛ばします。上記ポジション項目で表示されているチャンネル番号に対して有効です。

[TV 調整メニューについて]

TV 調整メニュー画面は TV 機能使用時にのみ表示が可能です。AV 入力及び VGA 入力時には表示されません。

[オートサーチについて]

初めてお使いになる、または視聴地域が変更された場合はオートサーチが必要です。オートサーチを行なわないとテレビ放送を受信することはできません。

5 故障かな？ と思ったら

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。
巻頭に記載の注意書き、及び本章をお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

起動しない

●電源ランプが点灯しているかを確認してください。点灯していなければ配線、及び電圧の合ったコンセントに差し込まれているかを確認してください。

●車載でご使用の場合は、お車のシガーソケットの電源が 12V であることを確認してください。誤った使用はショートや故障、事故等の原因となります。DC12V 以外の電源を使用すると、故障や事故の原因となります。24V 車（例. 輸入・大型車等）では使用できません。

音声も映像も出ない

●電源が入っているかを確認してください。

●オートサーチは行われていますか？

●受信中のチャンネルで放送が行われていることを確認してください。

●電波の受信状況が悪いことが考えられます。アンテナ及びテレビ本体の位置を見直してください。

映像は出るが音声が出ない

●イヤホンを接続していませんか？

●音量が 0 になっているか、消音ボタンが押されていませんか？

● VGA 端子は映像伝送用の端子です。PC 側の音声をテレビから出力させたい時は付属の VGA 用音声ケーブルを使用し、PC のイヤホン出力端子と接続してください。

音声や映像が途切れる

●山間谷間や高層建物等の地域状況によって電波の受信状況が悪いと、このような状態になります。このような場合は受信しやすい場所に移動するか、アンテナの位置や向きを調節してください。

メニュー画面を表示できない

●各種設定を行なうメニュー画面は TV、AV 入力、VGA 入力時で表示が異なります。

番組を受信できない

●アンテナの位置が受信しやすい場所に設置されているか、ご確認ください。
●オートサーチは完了しましたか（P11）？また、オートサーチを行った地域から移動した場合は、チャンネル編成が地域により異なるため、再度オートサーチが必要です。
● TV 調整メニューの TV タイプ設定は適切ですか？　通常は ATV を、ケーブルテレビをお使いの場合は CTV を選択してください。
● 2011 年 7 月のアナログ停波以降は本機だけで TV 番組を受信することはできません。

画面全体が灰色になる

●映像メニュー「カラー」の値が 0 になっていませんか？
● AV 入力の場合はテレビ方式の設定が外部接続機器と一致していない可能性があります。システムメニューの「TV システム」で外部機器のテレビ方式に合ったもの、または「AUTO」を選択してください。
※日本国内では NTSC が採用されています。通常は NTSC の設定のままでお使いください。

チャンネル番号について

●チャンネル読込順序は場所毎に差が出るため、周辺地域のチャンネル番号とは必ずしも一致ない場合があります。また、オートサーチ操作後のチャンネル番号入れ替えはできません。

希望のチャンネルに合わせられない

●オートサーチの方法は正しいですか？オートサーチを行った際に、希望のチャンネルを受信できなかった可能性があります。アンテナの向きや位置を見直し、再度オートサーチを行ってください。受信感度が悪い場合は、希望のチャンネルを受信できない場合があります。

リモコン操作が効かない

●リモコンと本体との間に障害物はありませんか？
●リモコンが本体に向けられていますか？本体の受光部との角度や距離が大きすぎていませんか？
●リモコンの電池は正しく装着されていますか？
●リモコンの電池が切れていることが考えられます。使用する電池はボタン型リチウム電池 CR2025 です。
●製品付属の電池は動作確認用となりますので、長く使用することができません。通常ご使用になる分は別途ご用意ください。

外部アンテナを接続できない

●本製品に接続が可能なアンテナ端子は F 型のみとなります。形状が異なる場合は電気店にご相談の上、F 型端子に変換してください。
●本製品には出力端子が付属しておりません。したがって、入・出力それぞれの端子が必要なアンテナシステムには対応しておりません。

VGA 入力時の補足

● PC の外部ディスプレイ出力サイズを800×480 ピクセルを超えて設定すると映像を正しく受け取ることができません。

画面が反転している

●設定メニュー画面内で画面の上下を反転させる機能がございますのでご確認ください。

補足：2011 年以降のテレビ視聴について

本製品に搭載されているチューナーはアナログ放送の受信専用機です。2011 年 7 月 23 日以降は本製品だけで地上デジタルテレビ放送を受信することはできません。地上デジタル放送をご覧頂くには地上デジタル放送に対応した UHF アンテナ、及び地上デジタル放送受信用のチューナーを別途ご用意頂く必要がございます。

製品仕様／お問い合わせ先

製品名	7 インチ液晶テレビ
製品型番	DS-TV702BK
本体色	ブラック
本体サイズ	220×147×38mm（横幅 × 高さ × 奥行） （スタンド取付時の高さ：173 ～ 200（可動式）× 奥行：102 mm）
本体重量	460g（スタンド取付時／ 570g）
電源	100–240V、50/60Hz、12V 1A
消費電力	10W ／待機時 1W
液晶パネル	7 インチ 800×480pixel、1677 万色、輝度 =250cd/m^2 コントラスト =500：1、視野角 = 上下 70°／左右 50° 応答速度 =30ms
チューナー	アナログ放送の受信専用機器です。本機だけでデジタル放送の受信はできません。 VHF-L：1 ～ 3ch(91.25 ～ 165.25MHz) VHF-H：4 ～ 12ch(171.25 ～ 463.25MHz) UHF：13 ～ 62ch(471.25 ～ 769.25MHz)
オーディオ出力	2W×2
入出力端子	AV 入力（付属ケーブルはテレビ接続側のみ専用端子形状） VGA 映像入力、VGA 用音声入力、アンテナ入力、電源入力 イヤホン出力（3.5mm）
動作環境	5 ～ 35℃
製造国	中国

※製品の外観や仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231–0033　神奈川県横浜市中区長者町 3–8–13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120–602–302

ホームページ　http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。

MADE IN CHINA